

## 中国の記事から (WTO/FTA・貿易・安全 ・その他)

---

2006年1月31日号

### 目次

- ◎雲南省、旧正月明けにエタノール混合燃料投入へ  
【中国化工報 2006年01月20日】
- ◎中国繊維工業協会、浙江省杭州市繊維業界のグレードアップ支援  
【中国紡織報 2006年01月23日】
- ◎交通部の李部長「2010年までに全農村にアスファルト道通す」  
【中国汽车報 2006年01月23日】
- ◎汎珠江デルタ地区、昨年ASEAN経済協力協定対象品の輸入が5億ドル超える  
【国際商報 2006年01月23日】
- ◎福建省、ASEANとの貿易額は1割増の46.5億ドル  
【国際商報 2006年01月24日】
- ◎国家統計局「2005年GDPは9.9%増記録」  
【経済日報 2006年01月26日】
- ◎国家環境保護総局局長「松花江でのニトロベンゼン汚染はない」  
【経済日報 2006年01月26日】
- ◎化学肥料大省の山東省、昨年の合成アンモニア生産量は626万トン  
【中国化工報 2006年01月26日】
- ◎山東省で麦わら原料に使用する全国初の発電開始  
【経済日報 2006年01月26日】
- ◎広西自治区河口ー ベトナム・ラオカイで迅速通関、6月30日から  
【国際商報 2006年01月26日】
- ◎国家統計局「1人あたりの可処分所得は9.6%増の1万493元」  
【経済日報 2006年01月26日】

**◎化学肥料出荷価格の上昇率上限を15%に引き上げ**

**【中国化工報 2006年01月27日】**

**◎中国とエジプト、2005年の貿易額が36%増の21億ドル記録**

**【国際商報 2006年01月27日】**

**◎山東如意集団、重慶万州で100万スピンドルのコンパクト糸工場**

**【経済日報 2006年01月30日】**

---

**◎雲南省、旧正月明けにエタノール混合燃料投入へ**

**【中国化工報 2006年01月20日】**

雲南省は、春節(旧正月。1月29日)連休後に自動車用エタノール混合燃料を全州市場に投入していくことを明らかにした。価格は、現在の燃料よりも低く設定される見込み。雲南省の石油製品消費量は1日あたり1万トン(ガソリン4000トン、ディーゼル燃料6000トン)、年間では360万トンとなっている。

同省ではすでに、石油製品卸売・小売を行う最大の民営企業・雲南強林石化有限公司が2005年9月に自動車用エタノール混合燃料を他社に先駆けて開発している。今年の全国での自動車用エタノール混合燃料生産のために必要なエタノールは200万トン以上と予測されている。

---

**◎中国繊維工業協会、浙江省杭州市繊維業界のグレードアップ支援**

**【中国紡織報 2006年01月23日】**

中国繊維工業協会は、浙江省杭州市との間で「繊維業界グレードアップ支援協力協定」を取り交わした。協定に基づき、同協会は杭州市の5カ年発展計画の制定、国際アパレルビジネスセンター建設を支援。杭州市の繊維メーカーは同協会主催の展覧会に優先的に出展していく。

また、中国繊維工業協会と杭州市蕭山区は共同で、蕭山区内での展覧センター、産業情報センター、製品検査センター、製品開発センター、電子商取引・近代物流センター、人材育成センターなどを建設していく。投資額は3億2000万元に達する見込み。杭州市には一定規模以上の繊維企業は1300社あり、これら企業の2005年生産高は1030億元に上った。

また、同市の化繊生産能力は年間40億メートルに達する。

---

**◎交通部の李部長「2010年までに全農村にアスファルト道通す」**

**【中国汽車報 2006年01月23日】**

交通部の李盛霖・部長は、15日に、開催された全国交通業務会議にて、交通部は第11次5カ年計画(2006~2010年)期間中に農村での道路建設に4178億元を投入し、全ての農村にアスファルト道路を通し、総延長63万キロメートルとしていくとの方針を示した。2006年は少数民族地区、辺境地区、貧困地区、食糧生産地区を重点に全国農村で18万キロメートル(アスファルト道路は13万キロメートル)を建設。農村部でのバス輸送に適したバスの普及も進めていく。

また、同期間、全国では2万4000キロメートル以上の高速道路を新たに建設し、2010年まで

に総延長6万5000キロメートルとしていく

---

**◎汎珠江デルタ地区、昨年のASEAN経済協力協定対象品の輸入が5億ドル超える**

**【国際商報 2006年01月23日】**

広東省深セン税関は、2005年汎珠江デルタ地区の直属税関15カ所を通関した中国とASEANの経済協力協定対象製品の輸入額は5億1600万米ドル、免税額は4億6800万元(関税4億2700万元、附加価値税5900万元)に達したと発表した。

このうち果物・野菜の輸入額が2億3200万米ドルを占めている。輸入額は、タイからが全体の40.89%にあたる2億1000万米ドルを記録、免税額は同55.56%相当の2億7000万元に上った。また広東省2005年のASEAN諸国からの関連製品輸入額は3億9300万米ドル、免税額は3億8300万元となった。深セン税関を通関したASEAN諸国からの関連製品輸入額は、1億7600万米ドル、このうち優遇税制前倒し対象製品の輸入額は1億6900万米ドルに達している。

---

**◎福建省、ASEANとの貿易額は1割増の46.5億ドル**

**【国際商報 2006年01月24日】**

福建省福州市税関は、同省2005年のASEAN向け輸出額は24億2800万米ドル(22.73%増。前年比、以下同じ)、ASEANからの輸入額は22億2700万米ドル(1.77%増)、計46億5500万米ドル(11.72%増)に達したと発表した。

マレーシア、シンガポール、フィリピン、インドネシア、タイの5国との貿易額は、全体の93.23%に相当する43億4000万米ドルに上った。福建省外資系企業のASEANとの貿易額は全体の56.45%相当の26億2800万米ドル、国有企業は10億9000万米ドル(1.43%増)、私営企業は8億7500万米ドル(40.12%増)となった。ASEAN向け機械・電気製品の輸出額は11億2300万米ドル(23.46%増)、輸入額は11億1800万米ドル(6.03%増)、農産物の輸出額は2億9600万米ドル(49.63%増)、輸入額は1億600万米ドル(18.92%減)。繊維製品の輸出額は1億1000万米ドル(83.45%増)、衣類と部品は1億8800万米ドル(10.87%減)、靴製品は6300万米ドル(43.61%減)となった。

---

**◎国家統計局「2005年GDPは9.9%増記録」**

**【経済日報 2006年01月26日】**

国家統計局の李徳水・局長は、25日、2005年の全国GDPは前年より9.9%増となる18兆2321億元を記録したと発表した。内訳は、第一次産業が前年比5.2%増の2兆2718億元、第二次産業が同11.4%増の8兆6208億元、第三次産業が同9.6%増の7兆3395億元となっている。また、1人あたりのGDPは1703ドルに達した。李局長は、「全国経済の安定性は向上、協調の取れた発展をしつつある」と2005年の中国経済を評価した。中国の経済成長率は、2003年が10.0%、2004年が10.1%であり、3年連続で約10%の高い水準にある。また、2005年1～3月期の成長率は9.9%、4～6月期10.1%、7～9月期9.8%、10～12月期9.9%と高い

水準を維持している。

2005年通年の食糧生産量は、前年比146億kg、3.1%増の4840億kg、一定規模以上の工業企業生産増加額は16.4%増の6兆6425億元、輸出入額は同23.2%増の1兆4221億ドル(1019億ドルの黒字)、実行ベースの外資投資額は同0.5%減の603億ドルであった。また李局長は、現在の経済関連の問題として農業の基礎が弱い、固定資産への投資が大き過ぎるなどの点を指摘。2006年の展望として中央政府の方針、政策を実行すれば中国経済は引き続き安定的かつ急速な発展が望めるとしている。

---

#### ◎国家環境保護総局局長「松花江でのニトロベンゼン汚染はない」

【経済日報 2006年01月26日】

国家環境保護総局の周生賢・局長は、24日、清華大学、吉林大学などの研究者が共同で行った松花江水汚染環境影響調査が一定の成果をあげたと発表した。

松花江は、2005年11月に発生した化学工場爆発事故により汚染されていた。周局長によると、調査の結果ニトロベンゼンの含有量は環境基準をクリア、春季に川の氷がとけても河川底部の泥によるニトロベンゼン汚染はないとされる。松花江沿岸で行った地下水安全検査ではニトロベンゼンはほぼ検出されず、水産物、農産物、産物などに対する汚染はなかった。

また、都市部で行った飲料水安全検査ではニトロベンゼン除去には活性炭が効果的であることが分かっている。

---

#### ◎化学肥料大省の山東省、昨年の合成アンモニア生産量は626万トン

【中国化工報 2006年01月26日】

山東省化学肥料工業協会は先ごろ、全省2005年の化学肥料生産量は合成アンモニア626万2700トン、窒素肥料411万4700トン、五酸化リン99万6500トンに達したと発表した。

同省窒素肥料メーカーの利益は25億6700万元、リン肥料メーカーの利益は14億9600万元に達した。山東省の化学肥料生産量、利益はいずれも好調であるが、業界では原材料不足、価格上昇などの問題も存在している。国による西部大開発、東北旧工業振興策などの実施にともない、山東省は化学肥料大省の地位固めのため製品構造調整などを進めていく方針である。

---

#### ◎山東省で麦わら原料に使用する全国初の発電開始

【経済日報 2006年01月26日】

山東省棗庄市の華電国際十里泉発電所の第5号ユニット(140MW)でこのほど、麦わらを使用した全国でも初めての発電が始まった。同市は石炭が豊富であるが、市は持続可能な発展を目指しており、第5号ユニットで麦わらを使用して発電することを決定、デンマークから技術導入しユニット改造を行っていた。年間7236時間稼動した場合、石炭7万5600トンに相当する麦わら10万5000トン焼却することができる。棗庄市では、年間に140万トンの麦わらが発生する農業の盛んな土地でもあり、麦わらを発電に有効利用することで生産者農家の所得増加、二酸化硫黄の

排出削減にもつながると期待されている。

---

◎**広西自治区河口ー ベトナム・ラオカイで迅速通関、6月30日から**

【国際商報 2006年01月26日】

商務部の易小準・副部長は先ごろ、商務部、雲南省商務庁主催の「メコン川流域(GMS)貿易投資便利化戦略行動枠組国際フォーラム」にて、2006年6月30日から河口(広西チワン族自治区)ーラオカイ(ベトナム)間で、ワンストップ・迅速通関サービスを始めると発表した。

行動枠組のロードマップを固め、実施方法を研究する専門チームも外交部、公安部、交通部、商務部、海関総署(税関)らにより設立された。アジア開発銀行の支援の下、中国、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナムはそれぞれの間で経済協力を進めており、中国とこれら5カ国2005年の貿易額は320億ドルに達した。

2005年7月に締結された「メコン川流域貿易投資便利化戦略行動枠組」では、中国とGMS諸国は通関、検疫、物流などの分野で貿易・取引コストの低減を進めることが謳われている。

また、6カ国は3月にも相互間の貨客輸送を便利化する協定を取り交わす予定となっている。

---

◎**国家統計局「1人あたりの可処分所得は9.6%増の1万493元」**

【経済日報 2006年01月26日】

国家統計局は25日、全国2005年の都市部市民1人あたりの可処分所得は1万493元(9.6%増。前年比、以下同じ。増加率は前年より1.9ポイント増)、農村部住民1人あたりの純収入は3325元(6.2%増。増加率は同0.6ポイント減)となったことを明らかにした。

2005年末現在、全国市民の預金は14兆1000億元(2兆1000億元増)、都市部の登録失業率は前年末と同程度の4.2%となった。

また、全国2005年の消費財小売額は6兆7177億元(12.9%増)、価格要素を除いた実質増加率は12.0%。このうち都市部の小売額増加率は13.6%、農村部では11.5%となった。業界別の増加率は、卸売・小売業が12.6%、飲食業が17.7%に達した。

また、製品別の小売額増加率は、通信機器が19.9%、家電とAV製品が14.8%、自動車が16.6%、石油と関連製品が34.4%となっている。

---

◎**化学肥料出荷価格の上昇率上限を15%に引き上げ**

【中国化工報 2006年01月27日】

国家発展改革委員会、財政部は25日、「2006年化学肥料生産供給・価格コントロールに関する通知」を発表した。同通知に基き、大手窒素肥料メーカー(合成アンモニア生産能力30万トン以上)の尿素出荷価格の上昇率上限がこれまでの10%から15%に引き上げられる。化学肥料生産による電力価格の優遇措置、尿素製品附加価値税免除、化学肥料輸送による鉄道建設基金免除など尿素、リン酸二アンモニウム、リン酸マグネシウムアンモニウム(MAP)に関する輸出税還付金取り消しは継続される。尿素を輸出する場合1~9月は30%、10~12月は15%の輸出税が

課される。また、2006年2月1日から無煙炭価格の上限制度が取り消される予定となっている。

---

#### ◎中国とエジプト、2005年の貿易額が36%増の21億ドル記録

【国際商報 2006年01月27日】

中国とエジプト2005年の二国間貿易額が21億4500万ドル(前年同期比36%増)に達した。両国の経済貿易は好調で、中国の対エジプト投資も進んでいる。2005年末現在、中国企業・個人がエジプトで設立した合資・独資企業は186社、投資額は2億2000万ドルに上った。中国紡織機械(集団)有限公司、金浪企業股フン有限公司が1247万ドルを共同出資する不織布生産事業がスタート、天津市白バイ瑰針織公司もメリヤスアパレル生産事業に200万ドルの追加投資を行った。

また、中国石化集団もエジプトで油井掘削の合弁事業を実施、通信設備大手の華為公司もカイロで技術サポート・トレーニングセンターを設立した。中国企業のエジプトにおけるCDMA、硫酸、ポリマー繊維プロジェクトも順調に進んでおり、契約ベースでの投資額は1億ドルを超えている。

---

#### ◎山東如意集団、重慶万州で100万スピンドルのコンパクト糸工場

【経済日報 2006年01月30日】

繊維・アパレル大手の山東如意集団は19日、重慶万州の三峡ダム区域にて40億元を投じて生産工場を建設することを明らかにした。100万スピンドル規模のコンパクト糸を生産する。第1期工場は、2006年6月に操業開始予定。山東如意集団は今後5年以内に、年間売上50億元、1万人分の就業機会創出を目指していく。コンパクト糸は高級生地・アパレル生産で使用。全国の糸生産量は1400万トンほどであるがコンパクト糸の割合は1%にとどまっている。山東如意集団が新工場を建設することにより中国繊維業界の製品構造がグレードアップするものとみられる。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により 翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て 独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。
--